

市長定例記者会見次第

平成27年7月30日（木）午前10時～

ふるさと会館 2階 研修室3

1 市からのお知らせ

- (1) 「雲仙市市制施行10周年記念事業
新規就農者確保・育成推進講演会」について
- (2) 平成27年8月の主要行事予定について
質疑

2 懇談

報道資料1

平成27年7月30日

報道機関各位

担当課	産業振興部農林水産課
担当者	係長 吉田まゆ
電話	0957-38-3111
FAX	0957-38-3109

「雲仙市市制施行10周年記念事業 新規就農者確保・育成推進講演会」について

〔前 文〕

農業が盛んな島原半島の農業・農村地域においても、農家数の減少や高齢化の進展が見込まれ、今後の産地と地域集落を維持していくためには、担い手の経営面積規模拡大や後継者育成、新規参入者を地域に呼び込む体制作りが求められています。

また、新規就農希望者が就農を具体化し、経営感覚に優れた農業経営者となるためには、農業者・農業法人、産地や関係機関が連携を強化し、育成していく必要があります。

そこで、将来、「雲仙力を育み、高め、笑顔で光り輝く雲仙農林水産業」を目指す雲仙市において、新規就農者の確保・育成の優良事例を講演会で研修し、地域・産地全体で新規就農者を育成する方策を検討する雲仙市内生産者によるパネル・ディスカッションを開催します。

〔内 容〕

- 1 主 催 雲仙市、雲仙市担い手育成総合支援協議会
- 2 日 時 平成27年8月10日（月）13:30～16:30
- 3 場 所 吾妻町ふるさと会館 多目的ホール（雲仙市吾妻町牛口名 537 番地 1）
- 4 内 容

第1部 講演会

「新規就農者の確保・育成について」

公益財団法人 志布志農業公社 事務局長 村中洋人 氏

曾於畑地かんがい農業推進センター 技術専門員 大保 勝宏 氏

第2部

パネルディスカッション 「未来を託せる人づくり」

- ①コーディネーター 島原地域就農支援センター長 本村高一
- ②パネラー 雲仙市内農業者 6名
- ③助言者 講師・島原半島農業士会 会長 計3名

雲仙市市制施行10周年記念事業

新規就農者確保・育成推進講演会

～みんなで育てよう地域・産地の後継者～

第1部

講演：「新規就農者の確保・育成について」

〈講師〉

村中洋人 氏 (公益財団法人 志布志農業公社 事務局長)

大保勝宏 氏 (曾於畑地かんがい農業推進センター 技術専門員)

「志布志の概要」

部会とJA、志布志市、農業委員会が主体となって設立した農業公社で全国から新規就農者を募り
実地研修を行い、産地を再興、部会内に設けた技術研究会で新技術の導入を行い、技術を広める体
制、IPM技術やヒートポンプの導入、鹿児島県版GAPの取得等、生産技術・経営の徹底指導に
より新規就農者の定着を図り、新規就農者が部会の多くを占めており、ピーマン部会では農林水産
大臣賞を2度受賞している。

第2部

パネルディスカッション：「未来を託せる人づくり」

司会者：本村高一 氏 (島原地域就農支援センター長)

パネラー：栗原将史 氏 柳 龍介 氏

本多悦子 氏 荒木大作 氏

栄木志穂 氏 本田健吾 氏

※パネラーは市内生産者から～

アドバイザー：村中洋人 氏 大保勝宏 氏

寺尾祐輔 氏

農業者に限らず、
どなたでも
ご自由に
参加できます。

日時：平成27年 8月10日 (月)

午後1時30分～午後4時30分

場所：吾妻町ふるさと会館 大ホール

入場無料

主催：雲仙市・雲仙市担い手育成総合支援協議会

協賛：島原地域就農支援センター・雲仙市農業振興協議会

【お問い合わせ：雲仙市農林水産課 電話 38-3111】

開催の目的

農業が盛んな島原半島の農業・農村地域においても、農家数の減少や高齢化の進展が見込まれ、今後の産地と地域集落を維持していくためには、担い手の経営面積規模拡大や後継者育成、新規参入者を地域に呼び込む体制作りが求められています。

また、新規就農希望者が就農を具体化し、経営感覚に優れた農業経営者となるためには、農業者・農業法人、産地や関係機関が連携を強化し、育成していく必要があります。

そこで、将来、「雲仙力を育み、高め、笑顔で光り輝く雲仙農林水産業」を目指す雲仙市において、新規就農者の確保・育成の優良事例を研修し、地域・産地全体で新規就農者を育成する方策を検討する講演会・パネルディスカッションを開催します。

第1部で講師を「(公財)志布志農業公社」・ 「曾於畑地かんがい農業推進センター」へお願いした理由

「(公財)志布志農業公社」・「曾於畑地かんがい農業推進センター」は、様々な『産地の復興』に携わったことにより、全国から脚光を浴びています。

なかでも、「JAそお鹿兒島ピーマン専門部会（生産農家87戸）」の産地復興が契機となっています。

平成8年に、専門部会・JA、志布志市や農業委員会が主体となって設立された「(公財)志布志農業公社」において、全国から新規就農者を募り、実地研修を行うなど各種支援を続けた結果、平成25年度の栽培面積は、オイルショック前のピークだった22.5haを上回るなど、存亡の危機に瀕していた産地をV字型に再興されました。

今では、生産農家の約7割近くが新規就農者で、その大半が関東や関西からのターン者です。また、夫婦・家族での移住も多く、子どもが通う小学校の維持にも貢献しています。「田園回帰」モデル産地として評価されており、その背景には同部会の女性会員の連携力も大きく、「女性の視点こそ定住促進の鍵」として注目されています。

『後継者不足・高齢化に直面している雲仙市農業が、「(公財)志布志農業公社」・「曾於畑地かんがい農業推進センター」から学べるものがたくさんある!』と考え、今回の講演会の講師依頼に至りました。

第2部は、農業者の皆さまが 「主役」となったのお話合いです。

2部のパネル・ディスカッションで、雲仙市の農業について話し合っていたいただくパネラーは、雲仙市で農業を営んでいる皆さまの「仲間」です。新規に就農した方、青年農業者の方、新規就農者の育成に携わっていただいている方などに、雲仙市農業の未来を発信していただきます。

「我が家には後継者もいるから。」という方も、産地全体での将来の後継者はいかがでしょうか？

後継者がいない農業者の方は、離農後、農地や機械資産は誰に託しますか？次世代に農業を託す準備は？後継者がいないからそのまま…で終えていいのでしょうか…。

雲仙市の輝く農業の「主役」は、農業を営んでいる皆さまです。

皆さまの「仲間」の思いを聞きに、8月10日（月）は、吾妻町ふるさと会館大ホールに、ぜひお越しください。そして、地域で「未来を託せる人づくり」を考え、どうやれば新規就農者を増やして、受け入れていけるのか、そのためにどう動いて形にしていくべきか、一緒に考えましょう。

平成27年8月主要行事予定について

●千々石ふるさと夏祭り

日時 8月1日(土) 午後3時～

場所 千々石町福石公園

実施主体 ふるさと夏祭り実行委員会

●南串山ふるさと夏まつり

日時 8月13日(木) 午後6時～9時

場所 ハマユリックス駐車場

実施主体 南串山ふるさと夏まつり実行委員会

●飛子夏祭り

日時 8月13日(木) 午後6時～

場所 小浜町飛子漁港埋立地

実施主体 飛子青年団

●山畑夏祭り

日時 8月14日(金) 午後6時30分～

場所 北串小学校体育館

実施主体 山畑青年団

●みずほ夏まつり

日時 8月15日(土) 午後5時30分～

場所 みずほすこやかランド

実施主体 みずほ夏まつり実行委員会

●吾妻町夏祭り

日時 8月16日(日) 午後4時～(予定)

場所 雲仙市役所駐車場

実施主体 吾妻町夏祭り実行委員会

●ふれあい愛の夏まつり

日時 8月23日(日) 午後5時30分～

場所 愛野運動公園

実施主体 ふれあい愛の夏まつり実行委員会

●国見夏の夜市

日時 8月29日(土) 午後6時～

場所 多比良商店街

実施主体 国見夏の夜市実行委員会